

主題「見えない相手とコミュニケーション」

副題～チャットで話してみよう～

さいたま市立大東小学校

1 ねらい

インターネット上の掲示板などにおいても実生活と同様に礼儀が大切だということに気付き、礼儀正しく振舞おうとする態度を身に付ける。チャットの特徴を知り、体験を通して利用方法について考えさせるようにする。

2 指導計画

講師・・・ベネッセICTサポーター

対象・・・5年生

日時・・・平成27年9月28日（月）

計画・・・①インターネットのチャット・掲示板について説明を聞く

②チャットのテーマを決定後、チャット体験をする

③チャットや掲示板でのトラブル事例と利用上のマナーを知る（スライドショー）

④チャット・掲示板利用上のマナーに気を付けながらチャット体験をする

⑤まとめ・感想を発表する

3 指導実践

(1) チャット・掲示板の特性

- ・情報を共有するためのツールであること
- ・人とつながりを感じられること
- ・ネットワーク上では相手が見えないこと
- ・不特定多数の人が見ることができること

(2) チャット・掲示板の利用上のマナー

- ・ネットワーク上では相手が見えないことを考慮すること
- ・相手の立場を考え、丁寧な言葉遣いをする
- ・ネットワーク上の情報を鵜呑みにしないこと

(3) チャットや掲示板での事故やトラブル

- ・なりすましの危険（スライドショー）
- ・言葉が上手く伝わらずにトラブルになる危険（スライドショー）
- ・対象の顔が見えないので、言葉が激しくなりがち
- ・個人情報の取り扱い

(4) 事後指導

- ・チャット内容の振り返りをし、言葉遣いについて指導した。



4 成果と課題

社会科の情報産業の学習と関連付けて授業を行った。インターネットの普及で様々な情報が簡単に得られるようになった一方で、正しい情報を取捨選択することの大切さを学習した。

今回のチャットを体験し、チャットの便利さと同時に、言葉だけで自分の意思を伝えることの難しさを感じることができた。感想では、「すぐに返信が来て楽しかった。」「間違っって打ち込んでしまったら、直すことができなくて怖かった。」「内容は同じでも、言葉によって受け取る印象が違った。」という、チャットの便利な面と不便な面についての記述があった。今回の学習を通して子どもたちは、インターネットは大変便利であるが、その一方で危険も伴うということ、体験を通して学習することができた。

今回の授業では、チャットや掲示板での事故やトラブルの「予防」という観点を重視して指導を行った。しかし、感情的になったり、相手に上手く意図が伝わらなかったりといった、突発的な事故やトラブルへの「対応」という部分では、更なる指導が必要であると感じられた。